

家庭

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
家庭	家庭総合	2	2年次・全	必履修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
家庭総合（東京書籍）		家庭科ノート 調理実習ノート		2年次必履修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に家庭や地域生活を創造する資質や能力を育成する。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な知識や技術を身に付ける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見出し、課題を解決する力を身に付ける。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題解決に主体的に取り組んだり、地域社会に参画しようとしたり、家庭や地域の生活を創造し、実践しようとする力を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
		単元	項目			
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	第6章 食生活をつくる	(1)食生活の課題について考える	4	・食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	1 3
			(2)食事と栄養・食品			
			(5)調理の基礎 調理実習① 調理実習②	6	・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるため栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について科学的な理解を深める。	1 3
			ホームプロジェクト	7	・自己の家庭生活の中で課題を見出し、それを解決しようとする実践できる。	1 2 3
	2 学 期	第6章 食生活をつくる	(4)生涯の健康を見通した食事計画 調理実習③	9	・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、健康な食事とは何かを理解する。	1 3
			(6)食生活の文化と利絵	10	・郷土料理や行事食などを継承するために日本食の特徴を確認する。	1 2 3 1 2 3
			(7)これからの食生活		・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになる。	1 2 3 1 3
		第9章 経済生活を営む	(1)情報の収集・比較と意思決定	11	・自立した責任ある消費者として、意思決定の重要性と情報の活用について理解する。	1 2 3 1 3 1 2 3
			(2)購入・支払いのルールと方法			
			(3)消費者の権利と責任			
		(4)生涯の経済生活を見通す	12	・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動がとれるような力を養う。	1 1	
	(5)家計をマネジメントする					
(6)これからの経済生活						
3 学 期	第8章 住生活をつくる	(1)住生活の変遷と住居の機能	1	・生涯を見通した住生活について住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。	1 2 3 1 2 3 1 2 3	
		(2)安全で快適な住生活の計画				
	(3)住生活の文化と知恵	2	・快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。	1		
(4)これからの住生活						
	第11章 これからの生活を創造する	(1)生活をデザインする	3	・持続可能な住居な地域コミュニティづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。	1 2 3 1 2 3	
				・自分らしい生活が実現できるよう、何が出来るかを考え実践しようとする。		

令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
学習評価	<p>規</p> <p>準</p> <p>○衣生活、住生活、食生活、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付けているか。</p>	<p>○必要な資料を収集し、検討することができるか。</p> <p>○家庭や地域の生活課題を見付け、その解決のために思考を深めているか。</p>	<p>○家庭や地域の生活の充実向上を目指して主体的に取り組んでいるか。</p>
手段	<p>・家庭科ノートの記事</p> <p>・定期考査</p>	<p>・ワークシートの記事</p> <p>・実習状況の観察</p>	<p>・授業中の発言</p> <p>・レポートの記事</p>
	<p>単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法</p>	<p>・期末考査、年次末考査の計3回の定期考査を実施する。</p> <p>・授業や実習に取り組む態度、提出物や作品の状況を総合的に評価する。</p>	
学習上の留意点	<p>・授業への出席、授業態度、作品やノートなどの課題の提出状況等、平常の取組が重視されるので、授業や実習に意欲的に取り組み、提出物は期限を守って必ず提出すること。</p> <p>・ワークシート等に真剣に取り組む、自分の考えや意見を述べるようにすること。</p> <p>・夏季休業中にホームプロジェクトの課題があるので、計画的に実践できるようにすること。</p>		